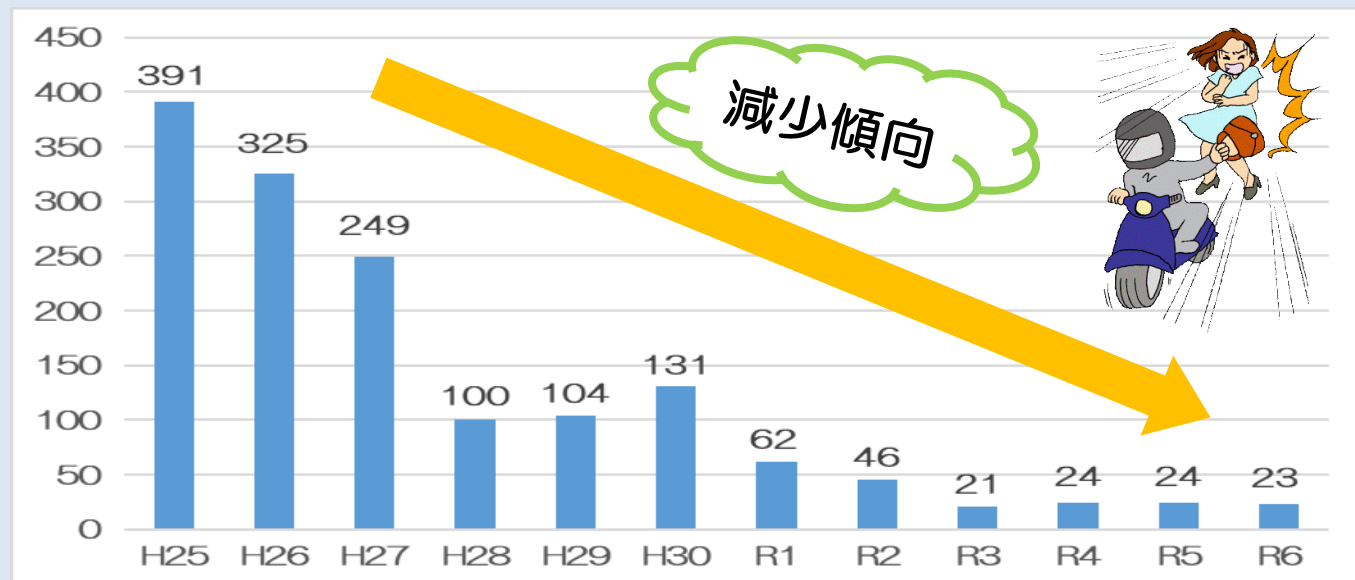


ひったくり被害の防犯対策

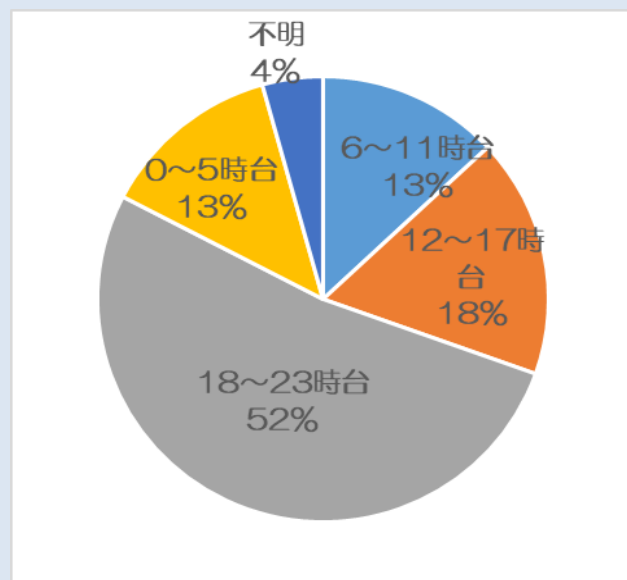
ひったくり被害の認知件数



○ 発生状況

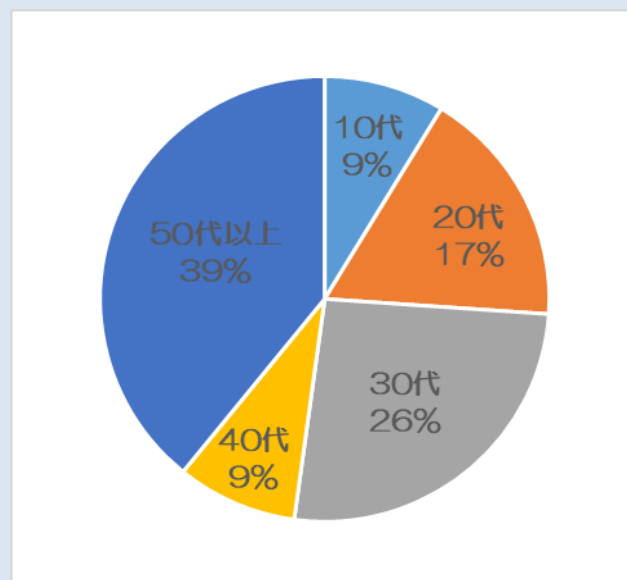
令和6年中の福岡県内におけるひったくりの認知件数は、**23件**で令和5年と比較して、1件減少しています。

○ 発生時間帯状況



被害発生時間帯のうち、
約5割が、18~23時台
となっています。

○ 被害者年齢別の状況



被害者のうち、
約4割が、50代以上
となっています。

ひったくりの被害者の多くは、50代以上となっています。
夜道を歩く際は、ハンドバッグ等をひったくられないように、車道と反対側に持つなどの防犯対策が必要です。
十分に注意しましょう。



バッグの持ち方を工夫する

○ バッグは車道と反対側に持つ！

車道側に荷物を持つことで、犯人にとってひったくりが行いやすい状況を作ってしまうことになります。
バッグや財布等は、車道とは反対側に持ちましょう。



ながら歩きは危険

○ ながら歩きは周囲の危険に気づかない！

音楽を聴きながら、スマートフォンを操作しながら歩く「ながら歩き」は、周囲への注意力が散漫になり、危険です。

周囲を警戒し、自主防犯に努めましょう。



周囲への警戒

○ 人通りの少ない道（夜道）等では周囲に注意！

人通りの少ない道や夜道では時々後ろを振り返り、なるべく明るい通り、車の通りが多い道を選びましょう。



防犯グッズの活用

○ 防犯カバーや防犯ネットの活用！

犯人から荷物をひったくられないよう、自転車のカゴに荷物を入れる時は、防犯ネットを活用しましょう。



被害にあった場合の措置

○ 迅速な110番通報！

ひったくりの被害に遭った際は、迅速な110番通報をお願いします。

ひったくられた荷物の中にスマホが入ったままであれば、通行人に110番通報を依頼する等犯人の検挙にご協力をお願いします。



ひったくりは、財産に限った被害に留まらず、被害に遭った際に転倒するなどして、怪我を負う危険もあります。
被害に遭わないよう、十分に注意しましょう。

